

株式会社十勝大福本舗

## 2022 年度 環境経営レポート

(対象期間: 2022 年4月1日～ 2023 年3月31日)



十勝からのお福分け

# TOKACHI

発行日: 2023年8月17日

## 目 次

項 目	ページ
環境経営方針	3
組織の概要	4
事業・製品の紹介	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	7
環境経営計画の取組結果とその評価	7
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果，並びに違反，訴訟等の有無	12
代表者による全体の評価と見直し・指示	12



## 環境経営方針

### <環境経営理念>

株式会社十勝大福本舗は安全・安心でおいしいお菓子づくりを通じて、地球環境との共生と持続可能な成長の両立を目指します。

安全・安心なお菓子をお客様に届けるため、衛生管理の徹底と効率的な生産に取り組みます。そして変化を恐れずに全社一丸となって常にチャレンジを続けて継続的改善に努めてまいります。

### <環境保全への行動指針>

1. 環境関連法規制やコンプライアンスを遵守します。
2. 創意工夫による省エネルギー・水資源の有用利用により二酸化炭素排出量の削減に努めます。
3. 廃棄物の発生抑制、食品リサイクル率の維持向上に努めます。
4. 環境に配慮した製品の研究開発に努めます。
5. エコ活動を通じて明るく活気のある職場づくりを推進します。



制定日：2021年2月4日

代表取締役 **駒野 裕二**

## □組織の概要

### (1) 名称及び代表者名

株式会社十勝大福本舗  
代表取締役 駒野 裕二

### (2) 所在地

本社工場 住所 〒089-0614 北海道中川郡幕別町緑町7番地  
東京工場 住所 〒354-0044 埼玉県入間郡三芳町大字北永井590-1  
ふじみ野工場 住所 〒356-0051 埼玉県ふじみ野市亀久保字大野原2176-4  
江別工場 住所 〒069-0832 北海道江別市西野幌120-6

### (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 常務取締役 澤井 裕一郎 TEL:049-258-6888  
担当者 総務部 海老名 貴志 TEL:049-258-6888

### (4) 事業内容

本社工場 量販店向け菓子の製造、餡の製造  
東京工場 コンビニエンスストア向け菓子の製造・開発  
ふじみ野工場 関東向け菓子の保管、出荷拠点  
江別工場 量販店向け菓子の製造

### (5) 事業の規模

売上高 106 億円

	本社工場	東京工場	ふじみ野工場	江別工場	合計
従業員 名	164 名	351 名	25 名	51 名	591 名
延べ床面積 m <sup>2</sup>	3059.28 m <sup>2</sup>	4234.8 m <sup>2</sup>	1619.13 m <sup>2</sup>	570.45 m <sup>2</sup>	9483.66 m <sup>2</sup>

### (6) 事業年度 4 月 1 日 ~ 3 月 31 日

## □認証・登録の対象組織・活動

登録組織名: 株式会社十勝大福本舗  
対象事業所: 本社工場  
東京工場  
ふじみ野工場  
江別工場  
活動: 十勝産小豆加工食品、和菓子・惣菜食品の製造販売

## □事業や製品(商品)の紹介

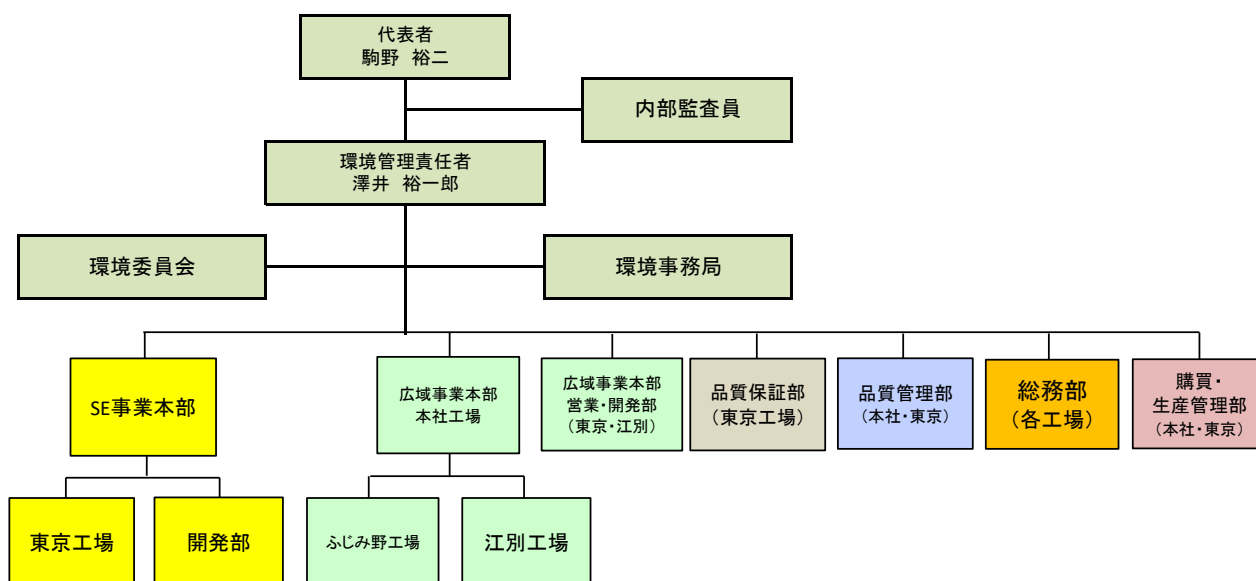
工場及び製造品目

本社工場	大福、もち、おはぎ、だんご、たい焼き、餡等
東京工場	大福、もち、パフェ、だんご等
ふじみ野工場	なし(出荷工場のため)
江別工場	大福、もち、おはぎ、どらやき等

販売エリア 主に北海道、関東エリア  
生産量 1日約250,000食(本社工場 90,000食、東京工場 150,000食、江別工場 10,000食)



□環境経営組織図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営に関する統括責任</li> <li>・環境管理責任者を任命</li> <li>・経営における課題とチャンスを確認にする</li> <li>・環境経営方針を定め、誓約する</li> <li>・環境経営を実践するための必要十分な実施体制の構築</li> <li>・実施体制において各自の役割、責任、権限を定め、従業員に周知する</li> <li>・実施及び管理に必要な経営資源(人、もの、資金、情報等)を準備する</li> <li>・環境経営目標・環境経営計画書を承認</li> <li>・代表者による全体の評価と見直し、指示</li> <li>・環境経営レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>・環境関連法規等の取りまとめ表を承認</li> <li>・環境経営目標・環境経営計画書を確認</li> <li>・環境活動の取組結果を代表者へ報告</li> <li>・環境経営レポートの確認</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境管理責任者の補佐、の事務局</li> <li>・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施</li> <li>・環境経営目標・環境経営計画書原案の作成</li> <li>・環境活動の実績集計</li> <li>・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理</li> <li>・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施</li> <li>・環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備え付けと地域事務局への送付)</li> </ul>
環境委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営計画の審議</li> <li>・環境活動実績の確認・評価</li> </ul>
部門長 工場長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自部門における環境経営方針の周知</li> <li>・自部門の従業員に対する教育訓練の実施</li> <li>・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施</li> <li>・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成</li> <li>・試行・訓練を実施、記録の作成</li> <li>・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施</li> </ul>
内部監査チーム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境に関する内部監査の計画</li> <li>・環境に関する内部監査の実施・報告</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚</li> <li>・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li> </ul>

## □主な環境負荷の実績

項目	単位	2021年	2022年
二酸化炭素総排出量	kg-CO <sub>2</sub>	7,807,704	7,840,472
電力	kWh	6,197,100	6,284,305
電力のCO <sub>2</sub> 排出係数(※)	kg-CO <sub>2</sub> /kWh	0.519	0.569
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	3,215,302	3,575,770
化石燃料	kg-CO <sub>2</sub>	4,592,402	4,264,703
廃棄物排出量			
一般廃棄物排出量	kg	71,433	78,291
産業廃棄物排出量	kg	1,865,939	1,606,318
食品廃棄物			
発生量	kg	1,186,679	1,064,272
発生抑制量		0	0
再生利用量		1,011,659	980,322
熱回収量		175,020	83,950
減量量		0	0
再生利用以外の量		0	0
廃棄物処理量		0	0
食品再資源化実施率	%	99%	100%
水使用量	m <sup>3</sup>	194,417	187,243

※電力の二酸化炭素排出係数(R2年度実績・R4年1月7日環境省・経済産業省公表)

本社工場 0.589 CO<sub>2</sub>/kwh (日鉄エンジニアリング)

東京工場 0.485 CO<sub>2</sub>/kwh (日本テクノ)

ふじみ野工場 0.485 CO<sub>2</sub>/kwh (日本テクノ)

江別工場 0.324 CO<sub>2</sub>/kwh (トック電気)

□環境経営目標及びその実績

数値目標：○達成 ×未達成

項目	年度	2021年		2022年		評価	2023年	2024年
		(基準値)	(目標)	上段：通期排出量	下段：通期対比		(目標)	(目標)
				(実績)	(実績)			
電力による二酸化炭素削減	kg-CO2	3,215,302	3,150,996	3,261,554			3,086,690	3,022,384
	基準年度比	2021年	98%	101%	×		96%	94%
	原単位	kg-CO2/千円	0.278	0.273	0.282	×		0.267
都市ガスによる二酸化炭素削減(東京)	kg-CO2	1,304,022	1,277,942	1,106,127			1,251,861	1,225,781
	基準年度比	2021年	98%	85%	○		96%	94%
	原単位	kg-CO2/千円	0.113	0.111	0.096	○		0.108
LPGによる二酸化炭素削減(本社・ふじみ野)	kg-CO2	326,901	320,363	351,513			313,825	307,287
	基準年度比	2021年	98%	108%	×		96%	94%
	原単位	kg-CO2/千円	0.028	0.028	0.030	×		0.027
LNGによる二酸化炭素削減(江別)	kg-CO2	524,275	513,789	523,863			503,304	492,818
	基準年度比	2021年	98%	100%	×		96%	94%
	原単位	kg-CO2/千円	0.045	0.044	0.045	×		0.044
ガソリンによる二酸化炭素削減	kg-CO2	44,012	43,132	39,061			42,251	41,371
	基準年度比	2021年	98%	89%	○		96%	94%
	原単位	kg-CO2/千円	0.00381	0.00373	0.00338	○		0.00366
軽油による二酸化炭素削減	kg-CO2	2,820	2,764	2,835			2,707	2,651
	基準年度比	2021年	98%	101%	×		96%	94%
	原単位	kg-CO2/千円	0.000244	0.000239	0.000245	×		0.000234
A重油による二酸化炭素削減(本社)	kg-CO2	2,157,160	2,114,017	2,008,110			2,070,874	2,027,730
	基準年度比	2021年	98%	93%	○		96%	94%
	原単位	kg-CO2/千円	0.18668	0.18295	0.17377	○		0.17922
灯油による二酸化炭素削減	kg-CO2	233,213	228,548	233,193			223,884	219,220
	基準年度比	2021年	98%	100%	×		96%	94%
	原単位	kg-CO2/千円	0.0202	0.0198	0.0202	×		0.0194
二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	3,791,087	3,715,265	3,888,553	×		7,495,396	7,339,242
一般廃棄物の削減	kg	71,433	70,004	78,291			68,576	67,147
	基準年度比	2021年	98%	110%	×		96%	94%
廃プラの削減	kg	227,106	222,564	203,415			218,022	213,479
	基準年度比	2021年	98%	95%	○		96%	94%
食品廃棄物の発生抑制・再生利用率の向上	自主目標	96%	99%	100%	×		99%	99%
	食り法目標	46%	48%	100%	×			
	基準発生原単位	kg/百万円	249	249	92.1	○		
水道水の削減	m <sup>3</sup>	194,417	190,528	187,243			186,640	182,752
	基準年度比	2021年	98%	96%	○		96%	94%
	原単位	m <sup>3</sup> /千円	0.0168	0.0165	0.0162	○		0.0162
化学物質の適正管理	行動目標(次項による)							
環境に配慮した製品・サービスへの取組	行動目標(次項による)							

※電力の二酸化炭素排出係数 単位:kg-CO2/kWh

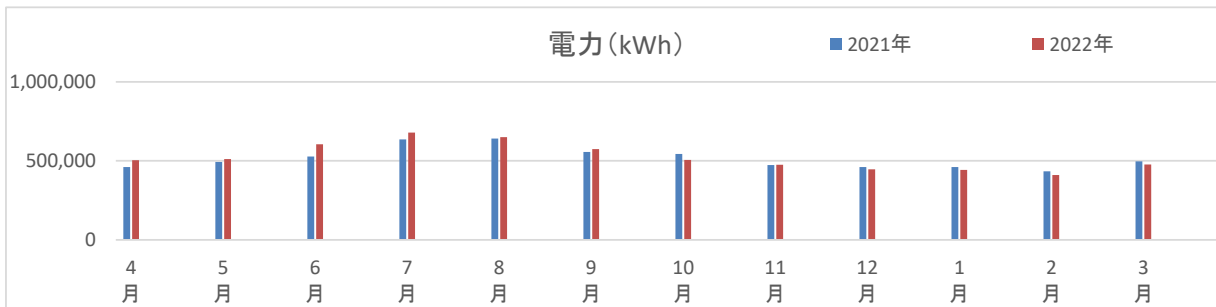
	2021年	2022以降
本社・工場	0.589	0.589
東京工場・営業所	0.485	0.485
ふじみ野工場	0.485	0.485
江別工場	0.324	0.324

**□環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の環境経営計画**

数値目標: ○達成 ×未達成

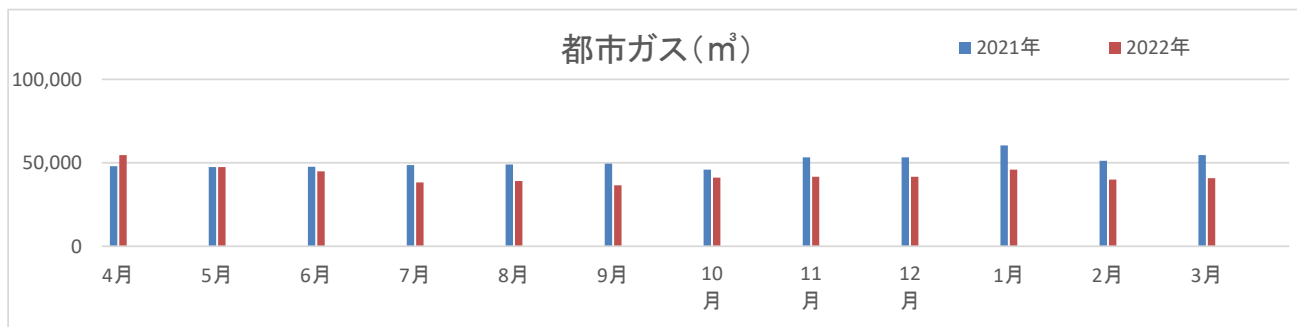
活動: ◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	目標達成には至らなかったが、エアコンの温度を室温を確認しながら調整するよう呼びかけ、温度計を複数設置して、管理・意識付けを行った。事務所では週1回のノー残業デーを継続して実施している。来季以降、太陽光発電の導入などを検討していく。
・空調温度の適正化	○	
・不要照明の消灯	○	
・LED電灯化推進	○	
・節電ポスターの掲示	○	
・仕事の効率化による定時退社の実施	○	



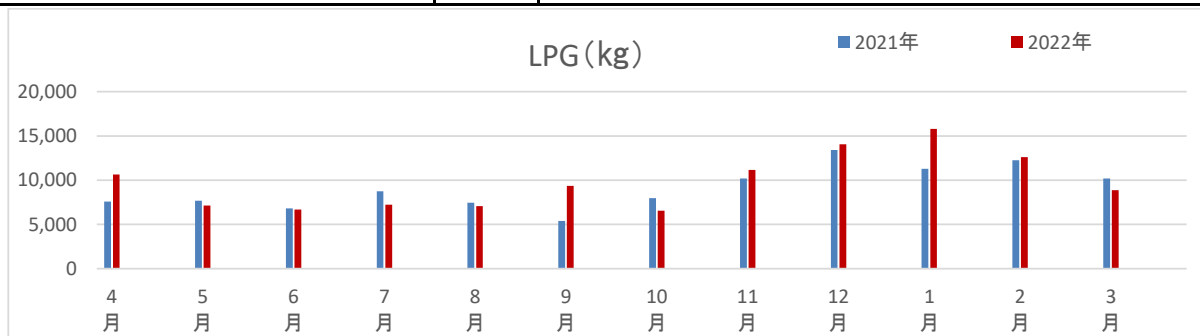
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2021年	461,323	493,466	528,235	636,171	640,419	555,722	543,367	473,588	460,422	460,422	434,058	496,571
2022年	504,908	512,098	605,146	679,343	649,774	574,369	506,421	474,835	446,612	442,893	411,267	476,640

都市ガスによる二酸化炭素削減(東京)	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	目標数値、原単位とも達成することができた。オープンを使った商品の製造ロス削減が大きい要因であった。次年度以降も製造ロス削減に向けた取り組みと意識づくりを強化していく。
・蒸気・冷温水配管の保温強化	○	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2021年	48,047	47,388	47,705	48,712	49,026	49,484	45,878	53,224	53,224	60,396	51,288	54,611
2022年	54,547	47,502	44,945	38,216	39,018	36,479	41,212	41,573	41,573	45,994	39,986	40,829

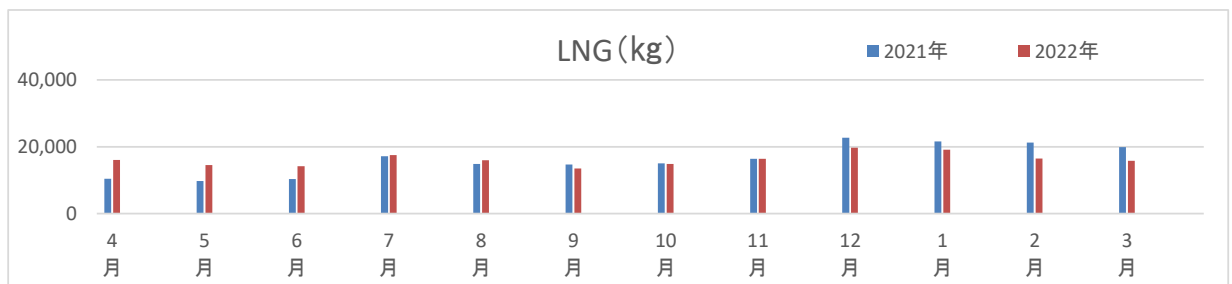
LPGによる二酸化炭素削減(本社・ふじみ野)	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	LPGを使用する商品割合が増え、目標数値と原単位基準において未達であった。製造ロスを減らすなど効率の良い製造体制の構築に次年度以降も取り組む。
・不使用時ボイラーのスイッチを切る	×	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2021年	7,568	7,682	6,811	8,733	7,460	5,407	7,970	10,182	13,417	11,298	12,260	10,178
2022年	10,649	7,138	6,677	7,232	7,058	9,357	6,564	11,169	14,066	15,785	12,605	8,871

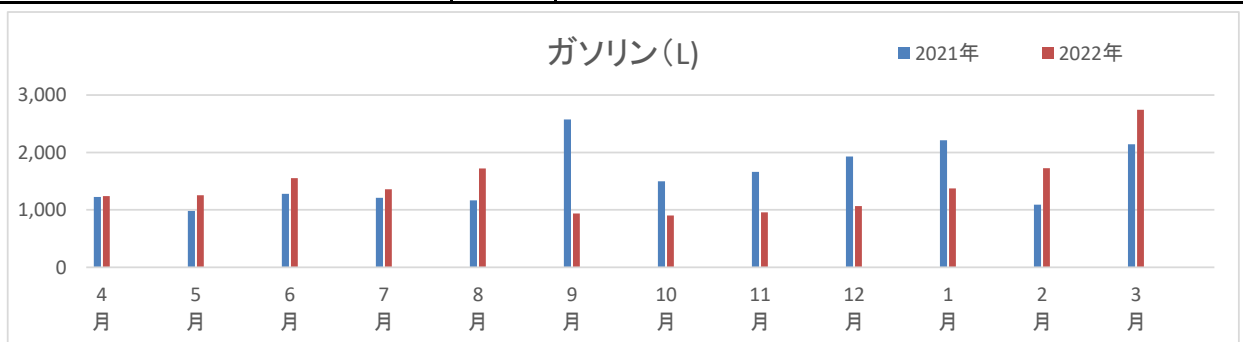


LNGによる二酸化炭素削減(江別)	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	数値目標は未達であったが、原単位基準にて目標達成。引き続き効率の良い生産意識を持って、取り組んでいく。
・定期点検を行う	○	



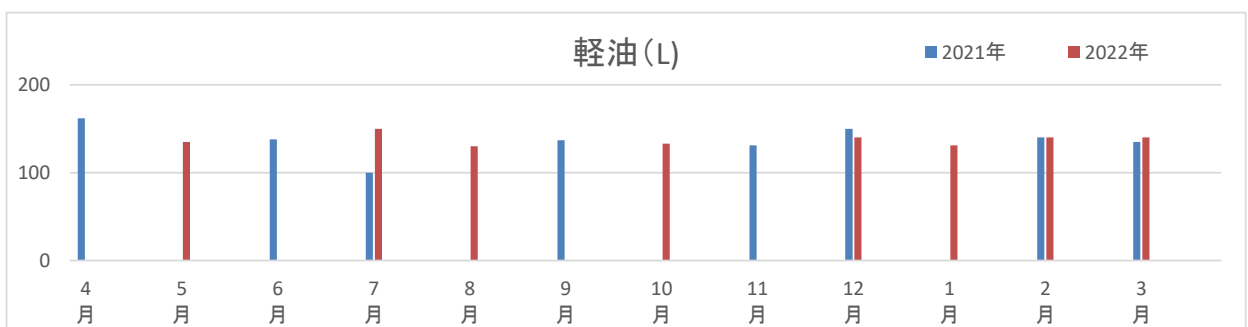
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2021年	10,451	9,734	10,333	17,197	14,884	14,731	15,003	16,382	22,661	21,600	21,278	19,922
2022年	16,046	14,494	14,181	17,484	15,955	13,469	14,901	16,388	19,718	19,113	16,457	15,818

ガソリンによる二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	数値目標、原単位基準ともに達成できた。エコ運転の実施を継続していくとともに、コロナ禍が落ち着きを見せた関係で公共交通機関の使用も増えてきたので、二酸化炭素排出量の少ない方法での移動を心がけていく。
エコ運転の徹底(急発進などの抑制)	○	



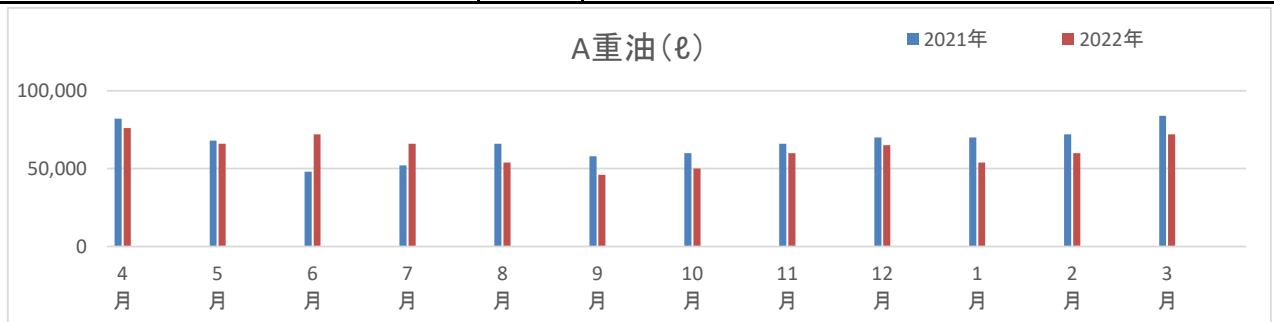
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2021年	1,227	981	1,281	1,210	1,165	2,575	1,499	1,661	1,928	2,212	1,090	2,142
2022年	1,241	1,257	1,551	1,360	1,721	937	904	955	1,069	1,377	1,724	2,742

軽油による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	本社工場内での荷物輸送のため、10t車で使用。次年度以降も不要なアイドリングの防止とエコ運転に努めていく。
不要なアイドリング防止	△	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2021年	162	0	138	100	0	137	0	131	150	0	140	135
2022年	0	135	0	150	130	0	133	0	140	131	140	140

A重油による二酸化炭素削減(本社)		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標		○	高効率な重油とボイラーへ変更を行い、数値目標、原単位基準とも達成した。 次年度以降は点検を怠らず、効率の良い状態を維持するよう務める。
定期点検の実施		○	
燃焼効率の良い重油の採用		○	
ボイラー停止に関して管理表を作成、運用する		○	



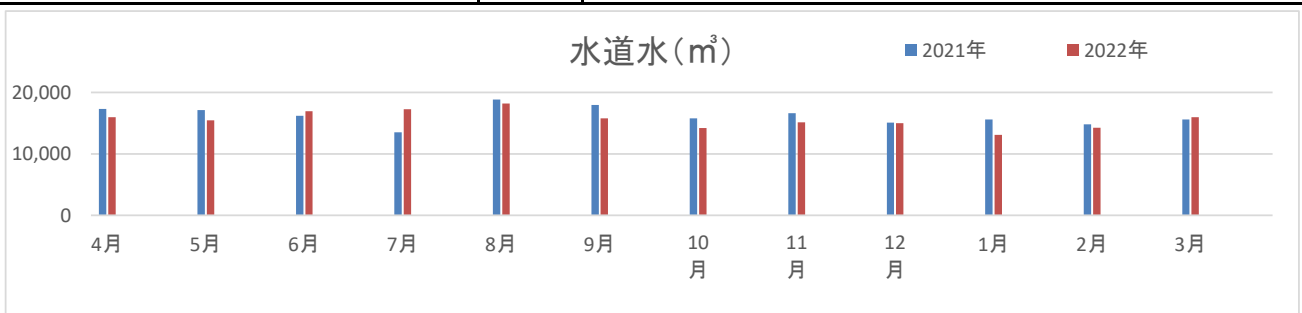
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2021年	82,000	68,000	48,000	52,000	66,000	58,000	60,000	66,000	70,000	70,000	72,000	84,000
2022年	76,000	66,000	72,000	66,000	54,000	46,000	50,000	60,000	65,000	54,000	60,000	72,000

灯油による二酸化炭素削減(本社)		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標		×	数値目標は達成できなかったものの、前年度並みで推移した。中長期的に高効率ボイラーへ変更を検討していく。
・定期点検の実施		○	
・ボイラー停止に関して管理表を作成、運用す		×	



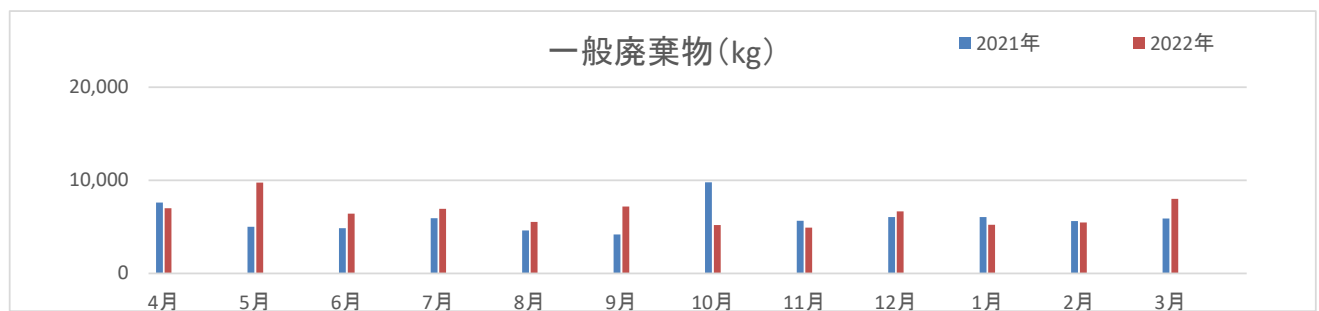
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2021年	8,052	5,321	3,082	2,142	2,202	2,480	5,080	10,470	14,964	15,215	12,751	11,902
2022年	6,854	4,061	3,168	2,289	2,921	2,517	6,299	10,723	13,919	14,570	13,810	12,521

水道水の削減		達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標		○	節水ポスターを掲示し、定期的に周知を行った。また節水ノズルを取り付けて、出しっぱなしを抑制した。
・節水シールの貼り付けとポスター掲示		○	
・節水蛇口(ノズル)の取付		○	



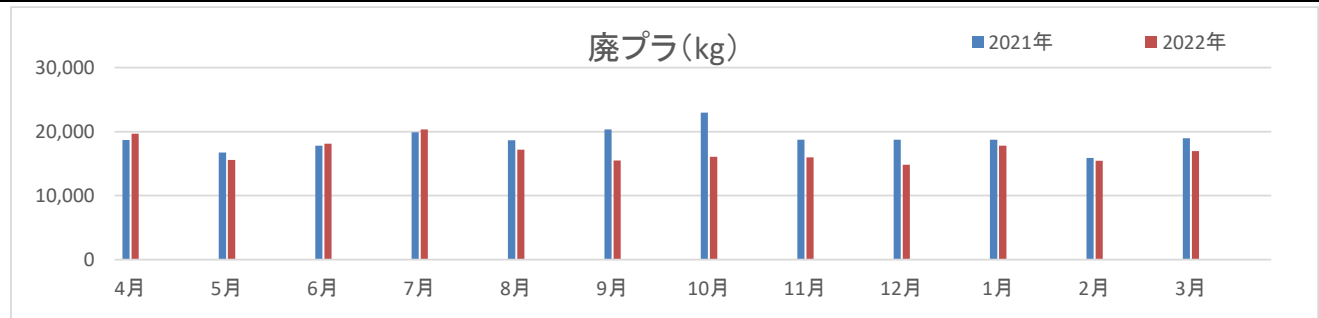
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2021年	17,295	17,110	16,220	13,523	18,824	17,983	15,764	16,639	15,073	15,616	14,792	15,579
2022年	15,956	15,475	16,962	17,255	18,177	15,769	14,206	15,126	14,985	13,101	14,250	15,982

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	ペーパーレス化に向け、カミナシの導入、裏紙使用を促進したが、目標達成には至らなかった。次年度以降、状況を確認しながらにはなるが、トイレのペーパータオルなどで削減を図っていきたい。
・コピー用紙の削減	○	
・ペーパーレスシステムの導入	○	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2021年	7,603	5,013	4,865	5,933	4,607	4,177	9,786	5,645	6,056	6,056	5,625	5,915
2022年	6,999	9,770	6,424	6,928	5,525	7,178	5,185	4,907	6,670	5,235	5,470	8,000

廃プラの削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	従業員に対し、分別の徹底を意識付けしてきたが、だいぶ根付いてきたように感じる。次年度以降も朝礼などを利用して従業員教育を行って、意識が高い状態を継続していききたい。
・包材発注量の精度アップ	○	
・分別の徹底(あん、カスタード袋)	○	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2021年	18,703	16,747	17,813	19,908	18,638	20,358	22,953	18,750	18,724	18,724	15,899	18,967
2022年	19,676	15,578	18,096	20,327	17,159	15,490	16,070	15,996	14,836	17,789	15,431	16,968

食品廃棄物の発生抑制・再生利用率の向上	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	投入ミスや計量ミスなどの作業ミスはあまり減らすことが出来なかったが、生餡の皮の脱水等を行うことで目標を達成できた。
・加工ロスの削減	○	
・分別の徹底	○	
・再資源化先の開拓	×	

化学物質の適正管理	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・リスクアセスメントの実施	○	リスクアセスメントと安全衛生委員会の中で、従業員の意識強化を行った。次年度以降も継続して教育に取り組む。
・有害性物質の表示の徹底	○	
・従業員教育	○	

環境に配慮した製品・サービスへの取組	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・ロングセラー商品の開発	○	商品の製造数においては堅調であったが、鮮度延長の商品は検討を行ったものの、今季も商品化には至らなかった。環境に配慮した包材は一部商品で採用しているが、全社的な採用には至っていない。コストの関係もあるが、次年度以降も道を閉ざさず、環境に配慮した商品開発を継続して行っていく。
・日持ちする商品の開発	×	
・環境に配慮した包材の検討	△	
・顧客クレーム削減	△	

**□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無**

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物(動植物性残さ、廃プラ、汚泥、廃油等)
食品リサイクル法	食品廃棄物
容器包装リサイクル法	容器包装
騒音規制法	空気圧縮機
振動規制法	空気圧縮機
水質汚濁防止法	煮湯設備、洗浄設備
下水道法	除害施設
浄化槽法	浄化槽
消防法(危険物)	危険物の保管、地下タンク
フロン排出抑制法	業務用空調機・冷凍庫・冷蔵庫
省エネ法	特定事業者

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

食品リサイクル法の事業者ごとの基準実施率は達成しています。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

**□代表者による全体の評価と見直し・指示**

代表者による評価と見直し記録

情報の収集と評価

	システム文書	代表者による評価
環境経営目標の達成状況、環境経営計画の実施状況、及びその効果	環境経営計画書	環境経営目標に対し、目標未達の項目が多い。環境経営計画の実施では引き続き、創意工夫と抜本的な取り組みを行ってほしい。
法規の遵守状況	遵法評価記録	現状、各省庁に必要な報告書は出されている。今後法令の改正に注意を払い、漏れのないよう取り組んでほしい。
外部からの苦情・要望、システム全体	環境コミュニケーション記録	外部からの苦情に対しては、今期は特になかったが、引き続き、懇切丁寧な対応を継続してほしい。

発展強化点、要改善点	①目標未達の項目については評価の方法(対象商品の伸長反映など)の見直し。 ②専門の知識を持った製造統括の意見を取り入れながら、効率の良いエネルギーの模索・変更、設備の更新を検討。 ③各工場責任者の更なる意識向上、全従業員の理解を深め、モチベーションを維持するために、4半期に1回、現場も含めた関係者が集まって評価する場を設ける。
------------	--

指示事項

	変更の要否	代表者の指示
環境経営方針	<input type="checkbox"/> 要 <input checked="" type="checkbox"/> 不要	本活動を通して従業員一人一人が環境に対する問題意識を持ち、行動することが企業として社会的責任を果たすことに繋がる。持続可能な社会を目指して活動していくことが企業としてステークホルダーへの責任を果たすことになるので、更なる意識の向上を期待している。
環境経営目標	<input type="checkbox"/> 要 <input checked="" type="checkbox"/> 不要	
環境経営計画	<input type="checkbox"/> 要 <input checked="" type="checkbox"/> 不要	新たな対策が検討され、実行可能な場合はすぐに計画に盛り込み、実行するよう(して)ほしい。また、課題・対策内容を明確に盛り込み、継続した取り組みと結果の判断と改善を行うこと。
実施体制システム全般	<input checked="" type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 不要	月次で進捗の報告を発信し、4半期に一度、各工場の関係者を集めて振り返りを行い、PDCAを回すサイクルを確立してほしい。

- 手順: 1. 毎年定期的に、社長と管理責任者がEA21のシステム書類を基に実施結果について話し合う。  
2. 社長は活動状況と成果について評価し、必要な指示を行う。